

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 イメージ情報開発株式会社
 コード番号 3803 URL <http://www.image-inf.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 拓史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室室長 (氏名) 百瀬 哲

TEL 03-5733-5631

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	593	17.6	△168	—	△129	—	△144	—
22年3月期第3四半期	504	—	△63	—	△49	—	△69	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△17,369.69	—
22年3月期第3四半期	△8,366.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	1,047	775	74.0	93,060.76
22年3月期	1,276	912	71.5	109,562.48

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 775百万円 22年3月期 912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,030	26.1	△141	—	△99	—	△114	—	△13,682.19

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）、
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 8,900株 22年3月期 8,900株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 568株 22年3月期 568株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 8,332株 22年3月期3Q 8,362株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号)を適用しております。
2. 当社は、平成22年3月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値に係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。
3. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気の持ち直しや下げ止まりの傾向が見られるものの、雇用情勢の冷え込み、消費の低迷等、依然として厳しい状況が続いております。当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においても、企業のIT投資に対する需要は大企業を中心に回復傾向にありますが、未だ本格的な回復には至っておらず、予断を許さない状況となっております。

このような環境の中、当社グループは既存事業の拡大に努めるとともに、製函業向け基幹業務パッケージソフト「i-case」及びLSI・LED製品の販売促進、人材サービスの拡大、iPhoneやAndroid端末等のスマートフォン関連分野での技術蓄積等、新たな事業展開に向けた活動を継続してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は593,323千円(前年同四半期比17.6%増)となりましたが、新規事業展開により営業費用が増加したこと等から、営業損失168,359千円(前年同四半期は営業損失63,574千円)、経常損失129,672千円(前年同四半期は経常損失49,331千円)、四半期純損失144,724千円(前年同四半期は四半期純損失69,960千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における流動資産の残高は836,315千円(前連結会計年度末比242,850千円減)となりました。これは主に現金及び預金が275,696千円減少したことによるものであります。固定資産の残高は210,971千円(前連結会計年度末比13,632千円増)となりました。これは主に株式会社パンカクへの出資等による投資有価証券の増加25,021千円、「資産除去債務に関する会計基準」の適用等による敷金及び保証金の減少4,831千円によるものであります。これにより、総資産の残高は1,047,286千円(前連結会計年度末比229,217千円減)となりました。

流動負債の残高は179,535千円(前連結会計年度末比66,308千円減)となりました。これは主に買掛金の減少61,031千円、従業員への賞与支給に伴う賞与引当金の減少9,655千円等によるものであります。固定負債の残高は92,368千円(前連結会計年度末比25,417千円減)となりました。これは主に従業員の退職等に伴う退職給付引当金の減少15,992千円によるものであります。これにより、負債の残高は271,904千円(前連結会計年度末比91,725千円減)となりました。

純資産の残高は、利益剰余金の減少144,724千円等により、775,382千円(前連結会計年度末比137,492千円減)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間において現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により248,731千円減少(前年同四半期は16,884千円減少)、投資活動により27,059千円減少(前年同四半期は189,409千円増加)、財務活動により19千円減少(前年同四半期は27,164千円減少)し、当第3四半期連結累計期間末の資金の残高は166,971千円(前年同四半期比163,690千円減)となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間における営業活動により、資金は248,731千円減少しました。これは主に、税金等調整前四半期純損失141,870千円、仕入債務の減少61,031千円等の要因によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間における投資活動により、資金は27,059千円減少しました。これは主に、投資有価証券の取得による支出25,462千円によるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第3四半期連結累計期間において、配当金の支払により資金は19千円減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期通期の業績予想につきましては、業績の変動は現時点では想定されておらず、平成22年10月22日発表の業績予想に変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結累計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3. 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

4. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

5. 法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第3四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業損失、経常損失はそれぞれ1,796千円増加、税金等調整前四半期純損失は5,884千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	569,830	845,526
受取手形及び売掛金	207,933	181,464
商品	5,255	3,233
仕掛品	3,433	4,018
貯蔵品	143	189
前払費用	21,326	24,908
繰延税金資産	—	1,922
その他	30,145	20,322
貸倒引当金	△1,753	△2,418
流動資産合計	836,315	1,079,165
固定資産		
有形固定資産	22,631	26,942
無形固定資産	24,238	25,992
投資その他の資産		
投資有価証券	79,087	54,065
敷金及び保証金	77,970	82,801
破産更生債権等	—	76,735
その他	7,044	7,536
貸倒引当金	△0	△76,736
投資その他の資産合計	164,101	144,403
固定資産合計	210,971	197,338
資産合計	1,047,286	1,276,504
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,530	156,562
未払金	19,023	13,291
未払法人税等	1,850	10,409
前受金	21,365	11,817
賞与引当金	22,797	32,453
その他	18,967	21,310
流動負債合計	179,535	245,844
固定負債		
退職給付引当金	76,660	92,653
負ののれん	15,708	25,132
固定負債合計	92,368	117,785
負債合計	271,904	363,629

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,050	467,050
資本剰余金	510,270	510,270
利益剰余金	△105,996	38,727
自己株式	△95,771	△95,771
株主資本合計	775,552	920,276
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△170	△7,401
評価・換算差額等合計	△170	△7,401
純資産合計	775,382	912,874
負債純資産合計	1,047,286	1,276,504

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	504,513	593,323
売上原価	322,646	471,012
売上総利益	181,866	122,310
販売費及び一般管理費	245,441	290,669
営業損失(△)	△63,574	△168,359
営業外収益		
受取利息	4,351	886
受取配当金	1,340	—
受取保険金及び配当金	—	2,743
受取手数料	450	250
助成金収入	1,910	6,102
負ののれん償却額	7,854	9,424
受取賃貸料	—	9,985
有価証券売却益	—	7,795
その他	422	4,021
営業外収益合計	16,327	41,208
営業外費用		
自己株式取得費用	21	—
為替差損	1,758	1,644
創立費償却	305	—
有価証券償還損	—	536
その他	0	340
営業外費用合計	2,084	2,521
経常損失(△)	△49,331	△129,672
特別利益		
貸倒引当金戻入額	100	1,174
特別利益合計	100	1,174
特別損失		
投資有価証券評価損	12,301	7,669
前期損益修正損	5,122	—
損害賠償金	4,095	443
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4,087
その他	—	1,172
特別損失合計	21,518	13,373
税金等調整前四半期純損失(△)	△70,750	△141,870
法人税、住民税及び事業税	1,180	965
過年度法人税等	—	85
過年度法人税等戻入額	△1,970	△118
法人税等調整額	—	1,922
法人税等合計	△789	2,853
四半期純損失(△)	△69,960	△144,724

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△70,750	△141,870
減価償却費	12,114	12,698
負ののれん償却額	△7,854	△9,424
のれん償却額	1,288	1,379
その他の償却額	—	5,884
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,099	△77,401
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,890	△9,655
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,566	△15,992
受取利息及び受取配当金	△5,691	△3,629
補助金収入	△1,910	△6,102
前期損益修正損益 (△は益)	5,122	—
有価証券売却損益 (△は益)	—	△7,795
有価証券償還損益 (△は益)	—	536
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,301	7,669
損害賠償損失	4,095	443
売上債権の増減額 (△は増加)	36,195	△26,468
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,190	△1,391
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	—	76,735
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,004	△61,031
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,716	—
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,654	△8,852
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	24,307	13,843
その他	0	159
小計	△9,190	△250,265
利息及び配当金の受取額	5,691	3,629
補助金の受取額	1,910	6,102
損害賠償金の支払額	△4,095	△443
法人税等の支払額	△11,200	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	—	△7,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	△16,884	△248,731

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△324	△113
有形固定資産の取得による支出	△1,934	△746
無形固定資産の取得による支出	△13,779	△7,426
有価証券の取得による支出	—	△50,116
有価証券の償還による収入	100,000	—
有価証券の売却による収入	—	57,375
投資有価証券の取得による支出	△95,548	△25,462
投資有価証券の償還による収入	200,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2,266	—
貸付金の回収による収入	473	482
敷金及び保証金の差入による支出	△2,386	△1,052
敷金及び保証金の回収による収入	648	—
その他	△6	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	189,409	△27,059
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△7,057	—
リース債務の返済による支出	△799	—
配当金の支払額	△19,307	△19
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,164	△19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	145,360	△275,809
現金及び現金同等物の期首残高	185,302	442,781
現金及び現金同等物の四半期末残高	330,662	166,971

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。